

## 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22321	公衆便所維持管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	2
53223	南クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	3
53223	西クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	4
53223	横谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	5
53223	大西谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	6
53223	中島リサイクルセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	7
53223	松山衛生事務組合負担金	環境部	清掃施設課	シートA	8

平成30年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成30年度	評価対象年度	平成29年度
--------	--------	--------	--------

H30年度	部局等名 環境部	課等名 清掃施設課	担当グループ名 大西 昭寿	施設整備担当 大西 昭寿	連絡先 948-6901					
	部等長名 大西 高史	課等長名 岸 洋三	リーダー名 主幹		担当者名 主査	高松 学	技師	上田 純		
H29年度	部局等名 環境部	課等名 清掃施設課	担当グループ名 大西 昭寿	施設整備担当 大西 昭寿	連絡先 948-6901					
	部等長名 松本 善雄	課等長名 尾崎 喜彦	リーダー名 主幹		担当者名 主査	高松 学	技師	雙木 大二郎		

1. 事業概要【Plan】 ※平成29年度の内容

事務事業名(施策コード)	22321	公衆便所維持管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託		
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム						
政策	安全に暮らせる環境をつくる				重点プロジェクト					
施策	良好な衛生環境の維持				主な取組み					
主な取組み	生活衛生の向上		市長公約							
取組みの柱	生活衛生施設等の衛生水準の維持・向上									
総合戦略	基本目標			取組み					(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策									
	施策									
総合計画の実施計画掲載有無(H29)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H29)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成		

事業の目的(どのような状態にするか)	当該が管理する市内14箇所に設置された公衆便所を衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	地元要望等によって設置。									
対象(誰を、何を)	市内14箇所の公衆便所									
事業内容(どのような活動・手段か)	衛生的な利用を図るため、日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務を実施。破損・故障時には緊急修繕工事の実施。									
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容							
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/seikatsu/sonota/koshubenjo.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/seikatsu/sonota/koshubenjo.html</a>			パンフレット等の有無	2:無し	(有りの場合) 設置場所	
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)	平成	2	～	終期設定できない場合の理由			公衆衛生を維持するために欠かせないため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費			清掃費			し尿処理費			H29予算措置時期	当初
				H27年度	H28年度	H29年度	H27年度	H28年度	H29年度	H27年度	H28年度	H29年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				7,962	8,545	9,285							8,213	
決算額(B)(単位:千円)				7,599	7,738	8,393								
内訳(単位:千円) ※H27~29→決算内訳、 H30→予算内訳	国支出金			0	0	0							0	
	県支出金			0	0	0							0	
	市債			0	0	0							0	
	その他			52	56	49							0	
	一般財源			7,547	7,682	8,344							8,213	
主な経費(単位:千円) ※H29→決算、H30→予算						委託料 4,334千円 工事請負費 1,800千円 需用費 1,637千円				委託料 4,355千円 需用費 2,242千円 工事請負費 960千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等														
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	363	807							892	
人役(単位:人) ※小数点第一位まで				正規職員	0.6	0.6							0.6	
				正規職員以外	0.0	0.0							0.0	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(H29年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施。破損・故障時の緊急修繕工事の実施。		H29年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項		経年劣化による修繕費の増加	
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など		予定通り実施できたため	
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国、県、民間等)	1:有り	「有り」の場合、事業名・実施主体等	市・県や民間事業者が所有する公園・商業施設			
事業の公共性	必要性	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、市民サービスの向上が図られている。		
H30年度の目標	引き続き、衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上に努める。		H30年度の主な取組み内容(予定含む)		日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施。破損・故障時の緊急修繕工事の実施。	
					特に環境変化、障害、課題等解決のため、H30年度で取り組む改善策	

平成30年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成30年度	評価対象年度	平成29年度
--------	--------	--------	--------

H30年度	部局等名 部等長名	環境部 大西 高史	課等名 課等長名	清掃施設課 岸 洋三	担当グループ名 リーダー名	南クリーンセンター維持管理担当 副主幹	高橋 貢	連絡先 担当者名	971-8862 主任	安倍 健太郎	技師	宮本 佑司
H29年度	部局等名 部等長名	環境部 松本 善雄	課等名 課等長名	清掃施設課 尾崎 喜彦	担当グループ名 リーダー名	南クリーンセンター維持管理担当 副主幹	高橋 貢	連絡先 担当者名	971-8862 主任	安倍 健太郎	技師	宮本 佑司

1. 事業概要【Plan】 ※平成29年度の内容

事務事業名 (施策コード)	53223	南クリーンセンター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔 プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト	-			
施策	資源の有効活用とごみの適正処理				主な取組み	-			
主な取組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	-					
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理			-					
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		
	政策	-			-				
	施策	-			-				
総合計画の実施計画掲載有無(H29)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H29)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的 (どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である南クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	南クリーンセンターの供用開始による。								
対象 (誰を, 何を)	・南クリーンセンター施設 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で、可燃ごみ、粗大ごみに分類されるもの。								
事業内容 (どのような活動・手段か)	1 家庭から排出された可燃ごみの焼却処理及び粗大ごみの破砕処理を実施している。 2 ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用し、余剰電力は売却している。 3 ごみを焼却する際の蒸気の一部を近くの「アクアバレット」のプールの水温管理等に利用している。 4 施設の運転管理及び維持管理は、委託により実施している。 5 運転業務委託先名: 佐原環境プラント株式会社西日本支店								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/minami_cc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/minami_cc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	南クリーンセンター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由					松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条
始期・終期(年度)	平成	6	～	終期設定できない場合の理由		廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		目	塵芥処理費	H29予算措置時期	当初
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				1,100,357	1,133,724				1,132,538		1,122,871
決算額(B) (単位:千円)				1,031,088	1,060,289				1,057,606		
内訳 (単位:千円) ※H27~29→決算内訳, H30→予算内訳	国支出金			0	0				0		0
	県支出金			0	0				0		0
	市債			0	0				0		0
	その他			129,041	140,276				163,638		369,228
	一般財源			902,047	920,013				893,968		753,643
主な経費(単位:千円) ※H29→決算, H30→予算									委託料 613,397千円 工事請負費 286,235千円 需用費 145,317千円		委託料 654,582千円 工事請負費 289,240千円 需用費 165,271千円
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等											
予算執行残額 (単位:千円)			(A)-(B)	69,269	73,435				74,932		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			3.0	3.0				3.0		3.0
	正規職員以外			6.0	6.0				4.0		5.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(H29年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	H29年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	建物や設備機器等の経年劣化への対応		
主な取組み内容の達成度	→ ↑:年度当初目標以上 → ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし		
類似事業の有無(国, 県, 民間等)	2:無し	「有り」の場合, 事業名・実施主体等			
事業の公共性	必要性	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。		
H30年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。	H30年度の主な取組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, H30年度で取り組む改善策	経年劣化した建物や設備機器等の更新工事の実施

平成30年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成30年度	評価対象年度	平成29年度
--------	--------	--------	--------

H30年度	部局等名 部等長名	環境部 大西 高史	課等名 課等長名	清掃施設課 岸 洋三	担当グループ名 リーダー名	西クリーンセンター維持管理担当 副主幹	連絡先 担当者名	953-1153
H29年度	部局等名 部等長名	環境部 松本 善雄	課等名 課等長名	清掃施設課 尾崎 喜彦	担当グループ名 リーダー名	西クリーンセンター維持管理担当 主査	連絡先 担当者名	953-1153

1. 事業概要【Plan】 ※平成29年度の内容

事務事業名(施策コード)	53223	西クリーンセンター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	重点プロジェクト				
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト				
施策	資源の有効活用とごみの適正処理				重点プロジェクト				
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	主な取組み					
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
総合戦略	基本目標		取組み					(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策								
	施策								
総合計画の実施計画掲載有無(H29)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H29)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である西クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	西クリーンセンターの供用開始による。								
対象(誰を,何を)	・西クリーンセンター施設 ・松山市内から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分上、可燃ごみ、粗大ごみ(可燃性に限る)に分類されるもの。								
事業内容(どのような活動・手段か)	1 家庭から排出された可燃ごみの焼却処理及び可燃性粗大ごみの破砕処理を実施している。 2 ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用し、余剰電力は売却している。 3 施設の運転管理及び維持管理は、委託(DBO方式)により実施している。 4 運営業務委託先名:松山環境テクノロジー株式会社								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nishi_cc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nishi_cc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	西クリーンセンター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期(年度)	平成	25	～	終期設定できない場合の理由		廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	H29予算措置時期	当初
				H27年度	H28年度	H29年度		H30年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				865,476	879,545			879,069	882,180	
決算額(B)(単位:千円)				846,969	858,956			860,056		
内訳(単位:千円) ※H27~29→決算内訳, H30→予算内訳	国支出金			0	0			0	0	
	県支出金			0	0			0	0	
	市債			0	0			0	0	
	その他			494,596	528,457			539,554	241,271	
	一般財源			352,373	330,499			320,502	640,909	
主な経費(単位:千円) ※H29→決算,H30→予算						委託料 853,803千円 報酬 2,580千円 賃金 2,280千円		委託料 872,443千円 報酬 5,263千円 賃金 2,493千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			18,507	20,589			19,013		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			1.0	1.0			1.0	1.0	
	正規職員以外			4.0	4.0			4.0	5.0	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(H29年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		H29年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特になし		
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。		
H30年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H30年度の主な取組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	特になし	

平成30年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成30年度	評価対象年度	平成29年度
--------	--------	--------	--------

H30年度	部局等名 部等長名	環境部 大西 高史	課等名 課等長名	清掃施設課 岸 洋三	担当グループ名 リーダー名	担当グループ名 副主幹	矢野 功二	連絡先 担当者名	977-5235 主任	松尾 幸治	主任	上岡 修
H29年度	部局等名 部等長名	環境部 松本 善雄	課等名 課等長名	清掃施設課 尾崎 喜彦	担当グループ名 リーダー名	担当グループ名 副主幹	矢野 功二	連絡先 担当者名	977-5235 主任	西村 英治		

1. 事業概要【Plan】 ※平成29年度の内容

事務事業名(施策コード)	53223	横谷埋立センター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	重点プロジェクト	-	-	-	
政策	豊かな自然と共生する								
施策	資源の有効活用とごみの適正処理								
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	-	-	-	-	-	
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
総合戦略	基本目標	-	取り組み	-	-	-	-	-	
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(H29)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H29)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である横谷埋立センターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	横谷埋立センターの供用開始による。								
対象(誰を,何を)	・横谷埋立センター施設及び横谷廃棄物センター施設 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で、埋立ごみに分類されるものとクリーンセンターで発生する焼却灰。								
事業内容(どのような活動・手段か)	1 埋立ごみやクリーンセンターから発生した灰を埋め立てている。 2 埋立地で発生した浸出水は、水処理施設で浄化処理後、放流している。 3 運転管理業務委託先名: 水ing株式会社四国支店								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/yokotani.uc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/yokotani.uc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	横谷埋立センター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期(年度)	平成	15	～	終期設定できない場合の理由		廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		目		H29予算措置時期	当初	
				項	目	目	目	H29年度	H30年度			
現計予算額(A) (単位:千円)				473,128	594,038			526,439			560,544	
決算額(B) (単位:千円)				427,356	467,352			458,368				
内訳 (単位:千円) ※H27~29→決算内訳, H30→予算内訳				国支出金	0	0	0	0	0		0	
				県支出金	0	0	0	0	0	0		0
				市債	0	0	0	0	0	0		0
				その他	1,905	10,193	1,256	684				
一般財源	425,451	457,159	457,112	559,860								
主な経費(単位:千円) ※H29→決算,H30→予算							委託料 272,961千円 需用費 108,662千円 工事請負費 69,357千円			委託料 309,561千円 需用費 153,070千円 工事請負費 90,128千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	45,772	126,686			68,071				
人役(単位:人) ※小数点第一位まで				正規職員	2.0	3.0		3.0			2.0	
				正規職員以外	3.0	2.0		2.0		3.0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H29年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		H29年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	横谷埋立センターで「エコ次亜」を製造し、西部浄化センターにて下水の消毒剤として使用する取り組みについては、平成29年4月から本格運用をしている。		
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。			
H30年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H30年度の主な取り組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H30年度で取り組み改善策	横谷埋立センターで「エコ次亜」を製造し、西部浄化センターにて下水の消毒剤として使用する取り組みについては日本初の取り組みであることから、対外的に情報発信していく。

平成30年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成30年度	評価対象年度	平成29年度
--------	--------	--------	--------

H30年度	部局等名 部等長名	環境部 大西 高史	課等名 課等長名	清掃施設課 岸 洋三	担当グループ名 リーダー名 主査	大西谷埋立センター施設維持管理担当 宮浦 博義	連絡先 担当者名	977-0929 主任 西村 英治
H29年度	部局等名 部等長名	環境部 松本 善雄	課等名 課等長名	清掃施設課 尾崎 喜彦	担当グループ名 リーダー名 副主幹	大西谷埋立センター施設維持管理担当 西岡 孝志	連絡先 担当者名	977-0929 主任 井上 慶

1. 事業概要【Plan】 ※平成29年度の内容

事務事業名 (施策コード)	53223	大西谷埋立センター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔 プログラム		個別プログラム				
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト				
施策	資源の有効活用とごみの適正処理				主な取組み				
主な取組み	ごみの適正処理の推進		市長公約						
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
総合戦略	基本目標			取組み			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		
	政策								
	施策								
総合計画の実施計画掲載有無(H29)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H29)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的 (どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である大西谷埋立センターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	平成17年の合併により北条市から移管したことによる。								
対象 (誰を,何を)	・大西谷埋立センター施設 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で、埋立ごみに分類されるものとクリーンセンターで発生する焼却灰。								
事業内容 (どのような活動・手段か)	1 埋立ごみやクリーンセンターから発生した灰を埋め立てている。 2 埋立地で発生した浸出水は、水処理施設で浄化処理後、放流している。 3 運転管理業務委託先名:株式会社日本管財環境サービス								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/oonishidani.uc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/oonishidani.uc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	大西谷埋立センター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期(年度)	平成	5	～	終期設定できない場合の理由	廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	H29予算措置時期	当初
				H27年度	H28年度	H29年度		H30年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				45,811	44,995	39,149		46,014		
決算額(B)(単位:千円)				42,947	43,009	36,181		0		
内訳(単位:千円) ※H27~29→決算内訳, H30→予算内訳	国支出金			0	0	0		0		
	県支出金			0	0	0		0		
	市債			0	0	0		0		
	その他			194	119	120		50		
一般財源			42,753	42,890	36,061		45,964			
主な経費(単位:千円) ※H29→決算,H30→予算						委託料 25,429千円 需用費 6,066千円 工事請負費 3,923千円	委託料 27,019千円 工事請負費 11,019千円 需用費 7,070千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			2,864	1,986	2,968		0		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			1.0	1.0	1.0		1.0		
	正規職員以外			1.0	1.0	1.0		1.0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H29年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		H29年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	水処理設備機器の老朽化が著しい状況である。			
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。			
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし				
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度	1:貢献している	左記の理由 本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。					
H30年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H30年度の主な取組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持 ・経年劣化した水処理施設設備機器の総点検	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H30年度で取り組む改善策		・水処理設備機器更新計画の策定

平成30年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成30年度	評価対象年度	平成29年度
--------	--------	--------	--------

H30年度	部局等名 部等長名	環境部 大西 高史	課等名 課等長名	清掃施設課 岸 洋三	担当グループ名 リーダー名	主査 渡部 肇	連絡先 担当者名	997-5911 主任 井上 慶
H29年度	部局等名 部等長名	環境部 松本 善雄	課等名 課等長名	清掃施設課 尾崎 喜彦	担当グループ名 リーダー名	中島リサイクルセンター維持管理担当 副主幹 池田 隆彦	連絡先 担当者名	997-5911 主任 上田 剛士

1. 事業概要【Plan】 ※平成29年度の内容

事務事業名(施策コード)	53223	中島リサイクルセンター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	重点プロジェクト	主な取組み			
政策	豊かな自然と共生する								
施策	資源の有効活用とごみの適正処理								
主な取組み	ごみの適正処理の推進		市長公約						
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
総合戦略	基本目標		取組み					(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策								
	施策								
総合計画の実施計画掲載有無(H29)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H29)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみの再資源化等を行う施設である中島リサイクルセンターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年の合併により中島町から移管したことによる。								
対象(誰を,何を)	・中島リサイクルセンター施設 ・中島地域の家庭から発生した缶類、ビン類、ペットボトル、紙類等の一般廃棄物。								
事業内容(どのような活動・手段か)	1 中島地域から発生した缶類、ビン類、ペットボトル、紙類等の選別、圧縮、梱包を行う。 2 可燃ごみ、埋立ごみ、水銀ごみ等の一時保管施設としても活用している。								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nakajima_ro.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nakajima_ro.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	中島リサイクルセンター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期(年度)	平成	16	～	終期設定できない場合の理由	廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		目		H29予算措置時期	当初
				項	目	目	目	H29年度	H30年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				39,316		38,944		38,864			39,334
決算額(B)(単位:千円)				33,271		35,391		34,107			
内訳(単位:千円) ※H27~29→決算内訳, H30→予算内訳	国支出金			0		0		0			0
	県支出金			0		0		0			0
	市債			0		0		0			0
	その他			4,902		3,277		4,397			2,370
一般財源			28,369		32,114		29,710			36,964	
主な経費(単位:千円) ※H29→決算,H30→予算							報酬 12,554千円 委託料 7,359千円 賃金 7,029千円			報酬 12,722千円 委託料 9,514千円 賃金 7,936千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	6,045		3,553		4,757			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			1.0		1.0		1.0			1.0
	正規職員以外			9.0		9.0		9.0			9.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(H29年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		H29年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特になし		
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。		
中核市の実施状況	4:わからない	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度	1:貢献している	左記の理由	適正な資源の有効活用がされている。			
H30年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H30年度の主な取組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	特になし	

平成30年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成30年度	評価対象年度	平成29年度
--------	--------	--------	--------

H30年度	部局等名 部等長名	環境部 大西 高史	課等名 課等長名	清掃施設課 岸 洋三	担当グループ名 リーダー名	副主幹 奥村 康男	施設維持管理担当 連絡先	担当者名	主任 橋口 美佳		
H29年度	部局等名 部等長名	環境部 松本 善雄	課等名 課等長名	清掃施設課 尾崎 喜彦	担当グループ名 リーダー名	主査 中村 真也	施設維持管理担当 連絡先	担当者名	副主幹 奥村 康男	主任 重松 正健	

1. 事業概要【Plan】 ※平成29年度の内容

事務事業名 (施策コード)	53223	松山衛生事務組合負担金	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔 プログラム	個別プログラム	重点プロジェクト			
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト			
施策	資源の有効活用とごみの適正処理				重点プロジェクト			
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	重点プロジェクト				
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理			重点プロジェクト				
総合戦略	基本目標			取り組み	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無			
	政策							
	施策							
総合計画の実施計画掲載有無(H29)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H29)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
根拠法令,条例,個別計画等	松山衛生事務組規約							
事業の目的 (どのような状態にするか)	市の責務として、し尿の適正な処理を目的とする。							
背景 (どのような経緯で開始したか)	し尿処理は市の責務であり、適正に処理する必要があるため、浄化センターで処理することが効果的である。松山市では、昭和41年4月2日、松山市、東温市(現)及び砥部町の共同により一部事務組合として設立された松山衛生事務組合の共同し尿処理施設(浄化センター)の維持管理費として、負担金を支払い、し尿の処理を行っている。							
対象 (誰を,何を)	負担金交付先:松山衛生事務組合							
事業内容 (どのような活動・手段か)	松山衛生事務組合の組合議会の議決に基づく当該年度の負担額の支払いを行う(松山衛生事務組合へ負担金を支出)。							
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容					
事業の周知状況	HP掲載の有無	3:掲載する性質でない	(有りの場合) URL	パンフレット等の有無		2:無し	(有りの場合) 設置場所	
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和	41	～	終期設定できない場合の理由	生活環境を保全するためにし尿の適正処理は欠かせないため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		目		し尿処理費	H29予算措置時期	当初
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				603,264	603,264			603,264		603,264		
決算額(B)(単位:千円)				603,264	603,264			603,264		603,264		
内訳(単位:千円) ※H27~29→決算内訳, H30→予算内訳	国支出金			0	0			0		0		
	県支出金			0	0			0		0		
	市債			0	0			0		0		
	その他			0	0			0		0		
	一般財源			603,264	603,264			603,264		603,264		
主な経費(単位:千円) ※H29→決算,H30→予算							負担金補助及び交付金 603,264千円			負担金補助及び交付金 603,264千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	0	0			0		0		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			0.1	0.1			0.1		0.1		0.1
	正規職員以外			0.0	0.0			0.0		0.0		0.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H29年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	負担金の支払い	H29年度終了までに把握している環境の変化, 障害,課題となっている事項	特になし
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など
中核市の実施状況	2:実施市は少ない	事業の独自性	特になし
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等	
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない
	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
実施主体の妥当性	2	1:政策的意決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)	
行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)	
施策への貢献度	1:貢献している	左記の理由	し尿を適正に処理し、生活環境の保全に寄与することができた。
H30年度の目標	引き続き、し尿の適正処理により、生活環境の保全に努める。	H30年度の主な取り組み内容(予定含む)	負担金の支払い
			特になし